

緑化だより

No.65 平成23年10月号



キツネノハナガサ 平成23年 9月14日撮影

○きのこの味“苦い味のきのこ(4)”

○サクラのあれこれ (7)

○野鳥の世界(エゾビタキ)

○季節の植物

○研修会紹介

○お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

きのこの味

苦い味のきのこ(4) サクラシメジ(桜占地)

きのこの名前を判別する時、その判断材料の一つに“味”があります。生のきのこを少しだけかじってみるのです。味が無いものが多いのですが、中には辛いとか苦いとか酸っぱいものもあります。今月も苦い味のきのこをとりあげます。

サクラシメジは、秋にコナラ林の地上に群生します。傘の中央部はワイン色で縁部に向かって淡色になります。

この色合いから“赤なば”という方言名もあります。また、群生するので

“谷渡り”という名もあります。肉にはやや苦みがありますが人気のある食用きのこで、シーズンには県北のスーパーの店頭に並んでいます。よく似た種類として、針葉樹林に発生し、傘はあずき色、柄に白色繊維状のつばを持つサクラシメジモドキがあり、やはり食用になります。サクラシメジにはつばはありません。



サクラシメジ

サクラのあれこれ(7)

ソメイヨシノのような交配種や交雑種は短命なのに比べ、ヤマザクラやエドヒガンは原種のため長命であり、1,000年を超える名木が各地にあります。そのため、4・5百年を超える樹は、その地の一本桜の名木となっています。

日本で一番長命なサクラは樹齢 1,700 年の山梨の山高神代桜です。日本武尊が東征の折、この地に留まり、記念に植えたと言われています。それに次ぐのは樹齢 1,500 年の岐阜の薄墨桜です。継体天皇が皇太子のときにお手植えされたという伝説が伝えられています。このエドヒガンは、一時樹勢の衰えで枯死の危機を迎えましたが、手当てにより、現在では生き生きとしています。一本桜で名高いのは、その他福島県三春の滝桜、岩手県盛岡の石割桜、岐阜高山の臥龍桜等、何れも樹齢は800年以上いわれています。

広島県の一本桜は、東城町にある千鳥別尺のヤマザクラ、同じく東城にある小奴可の要害桜。森湯谷のエドヒガンの枝垂れ。佐伯区五日市町にある神原の枝垂桜などがあり、何れも樹齢は 300 年以上とされています。樹種は、エドヒガンがほとんどでヤマザクラが加わります。土師ダム円通山神社の山桜も樹齢 300 年近くあり、幹周り 3.6m でヤマザクラでは県下 2 番目に大きい樹とされています。

どの樹も、おらが町の自慢で、歴史上の人物や史実に結び付けて誇大になりがちですので、その点を考慮しながら観察するとよいと思います。

参考図書

「桜の話題事典」 東京堂出版 ・ 「桜の雑学事典」 日本実業出版社 井筒清次
「巨樹と樹齢」 新風舎 渡辺新一郎



土師ダム円通山神社の桜

野鳥の世界

エゾビタキ

夏が過ぎ秋の風が吹き始める頃、日本列島の森林で子育てをした野鳥達は、東南アジアやインドネシアなど南に向って次々と移動を始めます。

小型の野鳥の中には、オオルリ、サンショウクイ、ヤブサメや、エゾビタキ、キビタキ、コサメビタキ、サメビタキなどがいます。

どれも似たようなサイズで、体色も遠目には同じような灰褐色に見え、識別するのに迷います。

餌もクマノミズキ、ゴンズイ、ガマズミ、ウメドキなどの小粒の木の实や小昆虫を好むなど、生活パターンも似ています。

小型で鳴き声も静かなため、森では見つけにくいのですが、遠い旅をするために体力をつけるのでしょう。木の实の近くで待っていると、次々と姿を見せてくれます。

ヒタキ科の野鳥は、この季節、声を出して鳴くことはなくても、仲間の活動を見定めているかのように、追尾行動をしたりする様子をよく見かけます。オオルリ、キビタキ、イカルなども一緒になって、ミズキやアカメガシワの实を採食することがしばしばありますが、一定の間隔を保って、争うことはありません。

これら小型の野鳥の渡りは、カモ、ガンやハクチョウのような、大きな群れでの渡りではなく、単独又は4~5羽の家族単位で移動すると思われまます。森林性のこれらヒタキ科の小鳥を観察するためには、緑化センターの植生がちょうど良く、効果的なスペースと言えるようです。



エゾビタキ

季節の植物

センブリに似た姿のアケボノソウは、園内一円、水気の多い場所で観賞できます。花卉の黄色い模様は密腺で、アリが蜜を吸いにきます。

マルバノキ(ベニマンサク)は、レストハウスの裏や学習館裏にあり、鮮やかな紅葉と共に星状の赤い、小さな花をつけます。

ツバキ園やセンター池にあるカツラは、いち早く黄葉し甘い香りを漂わせます。キンモクセイの甘い香りもこの頃です。

チャノキ、サザンカ、早咲きツバキも咲き始めます。

10月下旬にはドウダンツツジ、アメリカフウ、台湾フウ、カキノキ、トウカエデ、カマツカ、カエデ科のアメリカハナノキなどの紅葉も始まります。

11月にはじまる紅葉のシーズンに先駆けて、紅黄葉の仲間が日々数を増していきます。紅葉の仲間入りをする植物は、カエデ科を筆頭にウルシ科、バラ科、ツツジ科、マンサク科、メギ科等 20 種以上あり、その種類に出会えるのも楽しみの一つです。



アケボノソウ(アリが蜜を吸っているところ)

研修会紹介

- 10月2日(日) 『木工教室』 10:00～12:00 学習室 集合
木切れで手軽に作ろう、身の回り品。
定員に達した為受付終了しました。
講師:もみじの会 岡部 茂
- 10月8日(土) 『10月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
10月の植物を観察しましょう。
講師:環境カウンセラー
自然観察指導員 和田 秀次
- 10月10日(月) 『きのこ入門観察会』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
園内を歩きながらきのこの観察をします。初心者大歓迎。
講師:きのこアドバイザー 川上 嘉章
- 10月14日(金) 『野生きのこ料理教室』 10:00～12:00 学習室 集合
野生のきのこを料理して、試食をしよう!
要予約(先着25名) 材料代300円
講師:料理研究家 金本 久子
- 10月16日(日) 『秋のきのこ教室』 10:00～14:00 第3駐車場 集合
きのこを採集して、名前を知ろう!
きのこ採集用のカゴ持参のこと
講師:きのこアドバイザー 川上 嘉章
- 10月23日(日) 『庭木の手入れについて』 10:00～12:00 学習室集合
マツのもみあげと庭木の手入れについて、実技演習も行ないます。
講師:樹木医 工藤 徹

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

- ◎ きのこ祭り 10月8日(土)～16日(日)
 - ・ 期間中きのこクイズ(景品有)。
 - ・ きのこの実物展示(レストハウスにて)
 - ・ キノコ汁(レストハウスでお食事をされた方にサービス)

レストハウス・ボード展示

- 広島県の美味しいきのこ、まぎらわしい毒きのこ写真展
9月18日(金)～11月3日(日)
広島県内で見られる、食べても美味しいきのこ、まぎらわしい毒きのこの写真展示をしています。

レストハウス・ガラスケース展示

- 手作り工房いっちゃん、木の実、枝作品展
9月14日(水)～10月23日(日)
木の実、木の枝を使っての手作り人形の作品を展示しています。



表紙：キツネノハナガサ ハラタケ科

傘の直径1～2cmの可憐なキノコで、傘は紙のような薄さです。
シャッターチャンスは朝の数時間で、昼にはしなびてしまいます。